

合格者アドバイザー通信

合格者が疑問にお答えします。。。

Q. ミクロが苦手です。どのように対策しましたか？

【演習の点数】

①16点 ②16点

- ・講義を受け終わった時期が8月と早かったので、後である程度思い出せるように講義後V問を解いた後、複数回演習を行った(4~8月期間)。
- ・12月頃から3日に1回のペースで1章ずつ、講義ノートを読み、V問を解き直した。(1か月ほどで1周)
- ・直前期にはある程度のミクロに関する知識がついていたので、講義ノートを見返し、載っている問題の演習+苦手な範囲はV問で問題演習という講義ノート中心に切り替えた。

梅田校：浅岡さんが回答

【演習の点数】

①6点 ②6点

- ・7月講義がない月に、ミクロ講義の1~9回目までの頻出度A問題を繰り返し解く。(1日5問)
- ・講義10~12回はマクロが始まるまでにV問題集を解いてみて、自分の苦手分野を知っておく。
- ・自分で図を描いてみる。
- ・マーシャル・ワルラスなど頻出度の高い問題は何回も解いておくなど、分野ごとに勉強する(見直す)回数を変える。

梅田校：三谷さんが回答

【演習の点数】

①10点 ②13点

私はミクロ経済学が苦手
で、不安を残したまま試験を受け、結局選択しなかった。
そのせいで筆記試験の点数がボーダースレスレで、最終合格までに非常に心苦しかったので、来年以降受験する皆さんにはぜひ早いうちからの対策をお勧めしたい。
特別な参考書はいらないので、V問の問題を見ただけで解き方がわかるくらいまで繰り返し解くことが大切になってくと思う。

なんば校：松田さんが回答

【演習の点数】

①16点 ②14点

- ・1月あたりに、V問は解けるが(A・Bレベル)、Cレベルの問題や応用問題になると手も足も出ないことに気付く。



- ・講義ノートに書いていることを根本的に理解するために、必要に応じて音声聞き直したり、講師に質問。
- ・3~4月以降はV問からランダムに問題を選んで毎日30分はミクロに触れるようにする。

梅田校：細谷さんが回答